

## I 事業目的

我が国では学校保健安全法施行規則に基づき、幼稚園から高等学校では歯及び口腔の疾病及び異常の有無の検査が義務化されている。また、各学校段階の教育要領及び学習指導要領により歯科保健教育が実施されている。

思春期から青年期にかけては、智歯（親知らず）による痛みや歯肉の腫れが頻出しやすい。さらに進学や就職によりライフスタイルが大きく変化するため、食生活習慣の乱れによる歯や口腔への影響が懸念される。しかし、義務教育終了後または高校卒業後は歯・口腔の疾病及び異常の有無の検査や歯科保健教育の実施の法的義務はなく、ほとんど実施されていないのが現状である。

さらに、平成 28 年度に兵庫県健康増進課が県内に居住する 20 歳以上、5,000 人を対象に実施した『平成 28 年度兵庫県健康づくり実態調査（以下、実態調査とする）』結果（回収率 53,4%）から、過去 1 年間に歯科健康診査を受けた者の割合が 20 代で男性が 35.0%、女性が 44.2%と各年代の中で最も低かった。

以上のことから青年期の口腔内の状況及び歯科保健行動の実態を把握し、定期的な歯科受診をはじめとした適切な歯科保健行動の習慣化を青年期から推進するための方策の検討資料とする。

## II 事業内容

### 1 対象

県内 5 大学の本モデル事業への協力を得た在校生を対象とした。

### 2 実施時期

平成 30 年 4 月～平成 30 年 12 月（そのうち歯科健診は 10 日間実施）

### 3 実施内容

#### （1）歯科健診及び歯科保健指導

定期健康診断日等に大学内の施設を利用し、歯科健診、健診結果に基づく歯科保健指導、歯科保健行動について及び今回の歯科健診に対するアンケートを実施した。各大学の実施状況は、表 1 の通り。歯科健診については様式 1（P15）を用いた。歯肉の状況については、歯垢の付着状況、歯肉の発赤の有無、歯石の状態から歯科医師が視診により判断した。歯科保健行動については、日本歯科医師会の生活歯援プログラムの質問票を用いた（様式 2、P16）。

歯科保健指導についてはむし歯、歯周病のリスクが高い者や希望者を対象とした。



会場の様子（歯科健診）



（歯科保健指導）

表 1 各大学の実施状況

	歯科健診 受診者数			歯科健 診対象 者数	対象者内訳	備考
	男	女	計			
A 大学	195	296	491	2,076	学部生、大学院生 (4/10 現在)	定期健康診断と同日に実施
B 大学	122	356	478	2,350	学部生、大学院生、科目等履修 生、研究生、留学生 (5/1 現在)	定期健康診断と同日に実施
C 大学	0	53	53	399	学部生 (5/1 現在)	定期健康診断と別日に実施
D 大学	13	20	33	1,692	学部生、大学院生、留学生 (5/1 現在)	定期健康診断と別日に実施
E 大学	9	4	13	3,682	学部生、大学院生 (5/2 現在)	定期健康診断予備日に実施
合計	339	729	1,068	10,199		

※B大学の1名は歯科保健行動に関するアンケートのみ回答

## (2) アンケート

健診後は P17 の様式で、3か月後は各大学ネットワーク等を活用し、ウェブアンケートにて歯科健診、歯科保健指導後の行動変容について調査を行った。

## Ⅲ 実施結果

### 1 年齢

大学生の年齢内訳は表2のとおり。

表 2 大学生の年齢別状況

18歳	232人
19歳	247人
20歳	168人
21歳	192人
22歳	110人
23～29歳	100人
30～40歳	15人
40歳以上	3人
不明	1人
計	1,068人

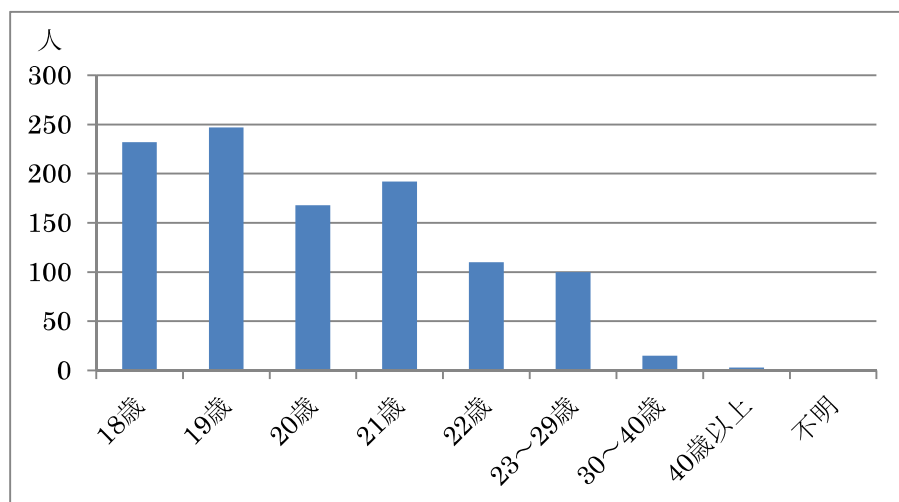


図 1 大学生の年齢別状況

## 2 歯科保健行動についてのアンケート結果（健診当日）

歯科保健行動についてのアンケート結果を表3にまとめた。

表3 口腔保健行動についてのアンケート結果

質問	回答	人数	割合	質問	回答	人数	割合	
Q1 現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか(N=1,068)	はい	568	53.2%	Q9-1 糖尿病の治療を受けている(N=1)	はい	0	0.0%	
	いいえ	495	46.3%		いいえ	1	100.0%	
	無回答	5	0.5%		無回答	0	0.0%	
Q1-1 噛み具合が気になる(N=568)	はい	188	33.1%	Q9-2 脳卒中の治療を受けている(N=1)	はい	0	0.0%	
	いいえ	379	66.7%		いいえ	1	100.0%	
	無回答	1	0.2%		無回答	0	0.0%	
Q1-2 外観が気になる(N=568)	はい	258	45.4%	Q9-3 心臓病の治療を受けている(N=1)	はい	1	100.0%	
	いいえ	309	54.4%		いいえ	0	0.0%	
	無回答	1	0.2%		無回答	0	0.0%	
Q1-3 発話が気になる(N=568)	はい	48	8.5%	Q10 家族や周囲の人々は、日頃歯の健康に関心がありますか(N=1,068)	はい	350	32.8%	
	いいえ	518	91.2%		どちらともいえない	552	51.7%	
	無回答	2	0.4%		いいえ	155	14.5%	
Q1-4 口臭が気になる(N=568)	はい	150	26.4%	Q11 自分の歯には自信があったり、人からほめられたことがありますか(N=1,068)	はい	158	14.8%	
	いいえ	416	73.2%		どちらともいえない	384	36.0%	
	無回答	2	0.4%		いいえ	514	48.1%	
Q1-5 痛みが気になる(N=568)	はい	115	20.2%	Q12 普段、職場や外出先でも歯を磨きますか(N=1,068)	無回答	12	1.1%	
	いいえ	452	79.6%		毎回	96	9.0%	
	無回答	1	0.2%		時々	249	23.3%	
Q1-6 その他(N=568)	はい	161	28.3%	Q13 間食(甘い食べ物や飲み物)をしますか(N=1,068)	いいえ	714	66.9%	
	いいえ	394	69.4%		無回答	9	0.8%	
	無回答	13	2.3%		毎日	347	32.5%	
Q2 ご自分の歯は何本ありますか(N=1,068)	19本以下	6	0.6%	Q14 たばこを吸っていますか(N=1,068)	時々	662	62.0%	
	20本以上	994	93.1%		いいえ	51	4.8%	
	無回答	68	6.4%		無回答	8	0.7%	
Q3 自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりとかみしめられますか(N=1,068)	左右両方かめる	978	91.6%	Q15 夜、寝る前に歯をみがきますか(N=1,068)	はい	44	4.1%	
	片方	42	3.9%		いいえ	1016	95.1%	
	両方かめない	23	2.2%		無回答	8	0.7%	
Q4 歯をみがくと血がでますか(N=1,068)	無回答	25	2.3%	Q16 フッ素入り歯磨剤(ハミガキ)使っていますか(N=1,068)	毎日	947	88.7%	
	いつも	18	1.7%		時々	87	8.1%	
	時々	367	34.4%		いいえ	24	2.2%	
Q5 歯ぐきをはれてブヨブヨしますか(N=1,068)	無回答	10	0.9%	Q17 歯間ブラシまたはフロスを使っていますか(N=1,068)	無回答	10	0.9%	
	いつも	7	0.7%		はい	385	36.0%	
	時々	118	11.0%		いいえ	162	15.2%	
Q6 冷たいものや熱いものが歯にしみますか(N=1,068)	いいえ	933	87.4%	Q18 ゆっくりよく噛んで食事をするか(N=1,068)	わからない	513	48.0%	
	いいえ	508	47.6%		無回答	8	0.7%	
	無回答	5	0.5%		毎日	88	8.2%	
Q7 かかりつけの歯科医院がありますか(N=1,068)	はい	449	42.0%	Q19 歯科医院等で歯みがき指導を受けたことはありますか(N=1,068)	時々	262	24.5%	
	いいえ	612	57.3%		いいえ	710	66.5%	
	無回答	7	0.7%		無回答	8	0.7%	
Q8 仕事が忙しかったり休めず、なかなか歯科医院に行けないことがありますか(N=1,068)	はい	509	47.7%	Q20 年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか(N=1,068)	毎日	367	34.4%	
	いいえ	547	51.2%		時々	473	44.3%	
	無回答	12	1.1%		いいえ	218	20.4%	
Q9 現在、次のいずれかの病気で治療を受けていますか(N=1,068)	はい	1	0.1%	Q20 年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか(N=1,068)	無回答	10	0.9%	
	いいえ	1060	99.3%		はい	612	57.3%	
	無回答	7	0.7%		いいえ	447	41.9%	
				無回答	9	0.8%		
				はい	304	28.5%		
				いいえ	757	70.9%		
				無回答	7	0.7%		

注:小数点以下第二位を四捨五入しているので計 100%にならない項目がある。

「現在、自分の歯や口の状態で気になりますか」という問いに対して「はい」と回答したものは53.2%であった。気になることとしては「外観が気になる」と回答した者が45.4%と最も多く、男性で37.6%、女性で49.1%と女性の方が高かった。その他と回答した者では「親知らず」と回答した者が多かった。歯の痛みや出血が気になる者は少なく、9割以上が両方の奥歯でしっかり噛めると回答した。

「かかりつけ歯科医院がありますか」という問いに対して「はい」と回答した者は42.0%で男性33.3%、女性46.1%と女性のほうがかかりつけ歯科医院がある者が多かった。平成27年度に兵庫県内に居住する満20歳以上の男女5,000人を対象に実施した『平成27年度県民意識調査(以下、意識調査)』ではかかりつけ歯科医院をもつ者の割合71.5%であったため、ありの割合は低い。

「歯間ブラシまたはフロスを使っていますか」という問いに対して、「毎日」または「時々」と回答した者は32.7%であった。『実態調査』では「よく使用する」、「時々使用する」と回答した者が52.0%であったため、大学生は歯間清掃用具を使用する者の割合も低かった。

『意識調査』ならびに『実態調査』と本事業の対象者の年齢が完全に一致しないので、単純に比較することはできない。

### 3 歯科健診結果

#### (1) むし歯の状況

むし歯のある者の割合は56.3%で県内公立高校3年生<sup>※1</sup>の55.8%と大きな差はなかった(表4、図2)。1人平均むし歯数は2.48であり、『平成28年度歯科疾患実態調査』の15~24歳の3.1に比べて低かった。

表4 むし歯の状況

	むし歯処置完了者		むし歯処置未完了者		合計		1人平均むし歯数 (健診受診者1人あたり)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性(N=338)	105	31.1%	82	24.3%	187	55.3%	2.53
女性(N=729)	277	38.0%	137	18.8%	414	56.8%	2.45
計(N=1,067)	382	35.8%	219	20.5%	601	56.3%	2.48

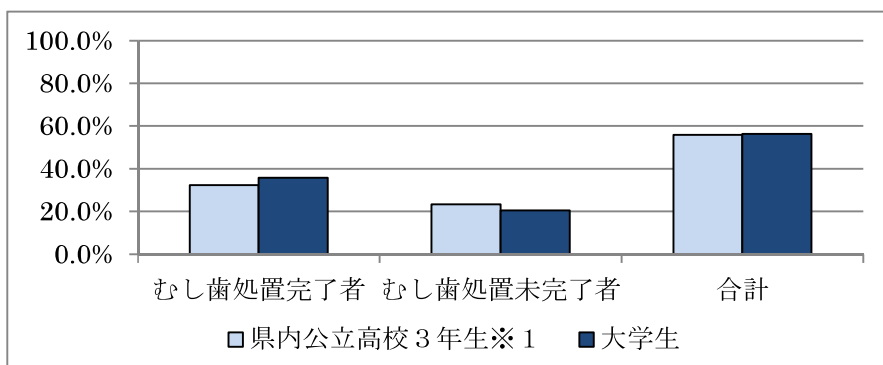


図2 むし歯の状況

## (2) 歯ぐきの状況

歯ぐきの状況は健診項目として実施していない大学や検査項目からもれてしまった者もあるため、歯ぐきの状態を検査した 422 名の結果を表 5 にまとめた。女性に比べて男性が歯科医師による診断が必要な者の割合は 26.3%で、県内公立高校 3 年生※<sup>1</sup>の 8.6%と比較すると約 3 倍であった (図 3)。

表 5 歯科医師による診断が必要な者

	歯科医師による 診断が必要な者	割合
男性(N=96)	33	34.4%
女性(N=326)	78	23.9%
計(N=422)	111	26.3%

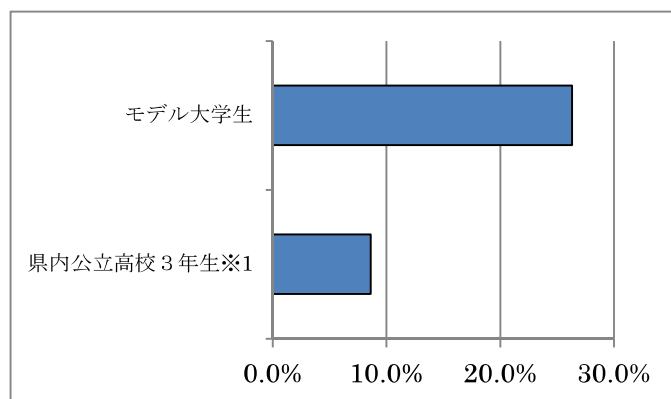


図 3 歯科医師による診断が必要な者

※ 1 出典

平成 29 年度保育所、認定こども園、幼稚園及び学校における歯科健診結果 調査報告

## (3) 歯石、口腔清掃状態

歯石の状態は軽度の者が 32.6%、中等度の者は 10.9%で合わせると 43.5%と 4 割以上の者に歯石の付着がみられた (表 6)。

口腔清掃状態は不良の者が男性で 12.1%、女性で 5.5%と女性に比べて男性は 2 倍以上口腔清掃状態が不良と判断された者の割合が多かった (表 7)。

表 6 歯石の状況

	なし		軽度		中等度		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性(N=338)	175	51.8%	112	33.1%	49	14.5%	2	0.6%
女性(N=729)	418	57.3%	236	32.4%	67	9.2%	8	1.1%
計(N=1,067)	593	55.6%	348	32.6%	116	10.9%	10	0.9%

表 7 口腔清掃状態

	良好		普通		不良		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性(N=338)	133	39.3%	159	47.0%	41	12.1%	5	1.5%
女性(N=729)	354	48.6%	323	44.3%	40	5.5%	12	1.6%
計(N=1,067)	487	45.6%	482	45.2%	81	7.6%	17	1.6%

#### 4 歯科健診後当日アンケート結果

##### (1) アンケートの方法及び回答者

歯科健診・歯科保健指導を受診後に満足度や今後取り組みようと思うことについてのアンケートを実施した。回答率は表8のとおり。

表8 歯科健診後当日アンケート回答者

	人数	回答率
男性	330	97.3%
女性	693	95.1%
計	1,023	95.8%

##### (2) 歯科健診を受けたきっかけ

歯科健診を受けたきっかけは「無料だから」と回答した者が53.6%と最も多く、「気になるところがあったから」と回答した者は19.3%であった(表9)。

表9 歯科健診を受けたきっかけ(複数回答)

	案内を見たから		勧められたから		無料だから	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性(N=330)	168	50.9%	51	15.5%	170	51.5%
女性(N=693)	360	51.9%	108	15.6%	378	54.5%
計(N=1,023)	528	51.6%	159	15.5%	548	53.6%
	症状があったから		気になるところがあったから		その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性(N=330)	13	3.9%	51	15.5%	14	4.2%
女性(N=693)	38	5.5%	146	21.1%	23	3.3%
計(N=1,023)	51	5.0%	197	19.3%	37	3.6%

##### (3) 歯科健診を受けて今後実行しようと思うこと

歯科健診を受けて今後実行しようと思うこととしては「歯の定期健診」が42.9%と最も高かった。次いで「今回指導を受けた歯磨き方法」、「フロスや歯間ブラシの使用」と回答した者が多く、歯科保健行動に関する動機付けができた(表10)。

表 10 歯科健診を受けて今後実行しようと思うこと（複数回答）

	今回指導を受けた歯磨き方法		歯の定期健診		フロスや歯間ブラシの使用	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性 (N=330)	118	35.8%	131	39.7%	95	28.8%
女性 (N=693)	193	27.8%	308	44.4%	199	28.7%
計 (N=1,023)	311	30.4%	439	42.9%	294	28.7%
	食いしばらない		よく噛んで食べる		親知らずのケア	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性 (N=330)	15	4.5%	10	3.0%	34	10.3%
女性 (N=693)	19	2.7%	29	4.2%	64	9.2%
計 (N=1,023)	34	3.3%	39	3.8%	98	9.6%
	歯科医院へ通う		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性 (N=330)	69	20.9%	16	4.8%	5	1.5%
女性 (N=693)	162	23.4%	34	4.9%	21	3.0%
計 (N=1,023)	231	22.6%	50	4.9%	26	2.5%

（４） 歯科健診の満足度、来年度の受診意欲ならびに歯科健診の感想

歯科健診の満足度については94.7%が「満足した」と回答した（表11）。「来年も大学で歯科健診があれば受けようと思うか」という問いに対しては「思う」と回答した者が96.4%であった（表12）。歯科健診の感想としては、「しばらく歯医者に行く時間を取っていなかったので行こうと思った」、「丁寧にオーラルケアをするきっかけになった」というような今回の歯科健診が歯科受診のきっかけになったという意見や、「フロスの使用などより丁寧な口腔清掃をする意欲が高まった」という意見が多く聞かれた。

表 11 歯科健診の満足度

	満足した		どちらとも言えない		不満だった		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性 (N=330)	314	95.2%	14	4.2%	1	0.3%	1	0.3%
女性 (N=693)	655	94.5%	38	5.5%	0	0.0%	0	0.0%
計 (N=1,023)	969	94.7%	52	5.1%	1	0.1%	1	0.1%

表 12 来年度の受診意欲

	思う		思わない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性 (N=330)	321	97.3%	6	1.8%	3	0.9%
女性 (N=693)	665	96.0%	26	3.8%	2	0.3%
計 (N=1,023)	986	96.4%	32	3.1%	5	0.5%

## 5 3か月後アンケート結果

### (1) アンケートの方法及び回答者

各大学ネットワーク等を活用し、ウェブアンケートにてアンケートを実施した。アンケートの実施にあたっては、大学での歯科健診を受診していない者も対象とした。大学での歯科健診を受けた者 1,068 名のうち 124 名の回答があった（回答率 11.6%）。大学での歯科健診を受けていないが 3か月後アンケートに協力をしてくれた者は 198 名で、計 322 名の回答が得られた。

### (2) 大学での歯科健診後（歯科健診を受診していない者は歯科健診実施月以降の）

#### 歯科受診状況

大学で歯科健診を受診した者では、歯科健診後 29.8%の者が歯科医院を受診していた（表 13）。受診した理由は「治療」と回答した者が最も多く、次いで「定期健診」と回答した者が多かった（表 14）。受診しなかった理由は「異常がなかった」と回答した者が最も多く、次いで「時間がなかった」と回答した者が多かった（表 15）。大学で歯科健診を受診した者は受診していない者に比べて歯科受診した者の割合が高かった。

表 13 歯科受診の状況

	歯科医院に行った		歯科医院に行っていない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
歯科健診を受けた者 (N=124)	37	29.8%	87	70.2%	0	0.0%
歯科健診を受けていない者 (N=198)	31	15.7%	164	82.8%	3	1.5%

表 14 受診の目的（複数回答）

	治療		歯石除去		定期健診		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
歯科健診を受けた者 (N=37)	16	43.2%	12	32.4%	14	37.8%	4	10.8%	1	2.7%
歯科健診を受けていない者 (N=31)	13	41.9%	4	12.9%	16	51.6%	3	9.7%	0	0.0%



表 15 受診しなかった理由（複数回答）

	異常がなかった		時間がなかった		お金がなかった		必要性を感じない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
歯科健診を受けた者 (N=87)	49	56.3%	36	41.4%	17	19.5%	12	13.8%
歯科健診を受けていない者 (N=164)	58	35.4%	60	36.6%	17	10.4%	31	18.9%
	かかりつけ 歯科医院がない		歯科医院が苦手		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
歯科健診を受けた者 (N=87)	13	14.9%	2	2.3%	2	2.3%	3	3.4%
歯科健診を受けていない者 (N=164)	15	9.1%	14	8.5%	14	8.5%	11	6.7%

### （3）定期的な歯科健診受診への意欲

「今後定期的に歯科健診を受けようと思う」と回答した者は82.3%と大学で歯科健診を受けたの方が受けていない者に比べて高かった（表16）。定期的に歯科健診を受けようと思った理由は58.8%の者が「今回の歯科健診で必要性を感じたため」と回答した（表17）。定期的に歯科健診を受けようと思わない理由としては、「時間がない」と回答した者が最も多かった（表18）。

表 16 今後定期的に歯科健診を受けようと思うか

	思う		思わない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
歯科健診を受けた者 (N=124)	102	82.3%	22	17.7%	0	0.0%
歯科健診を受けていない者 (N=198)	113	57.1%	83	41.9%	2	1.0%

表 17 定期的に歯科健診を受けようと思った理由

（大学で歯科健診を受けた者 N=102：複数回答）

今までも受けていたため		今回の歯科健診で必要性を感じたため		その他		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
32	31.4%	60	58.8%	8	7.8%	5	4.9%

表 18 定期的に歯科健診を受けようと思わない理由

(大学で歯科健診を受けた者 N=22：複数回答)

時間がない		お金がかかる		必要性を感じない		かかりつけ歯科医院がない		歯科医院が苦手		その他		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
13	59.1%	8	36.4%	4	18.2%	5	22.7%	3	13.6%	1	4.5%	1	4.5%

(4) 現在自分の歯や口の状態で気になることがあるか

現在自分の歯や口の状態で気になることがあると回答した者は大学での歯科健診時で 57.3%、3か月後アンケートでは 47.6%と歯科健診時に比べて3か月後アンケート時には気になることがある者が減少した(表 19、図 4)。

表 19 現在自分の歯や口の状態で気になることがあるか

	ある		ない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診(N=124)	71	57.3%	53	42.7%	0	0.0%
3か月後アンケート(N=124)	59	47.6%	59	47.6%	6	4.8%

表 20 気になることの内容(複数回答)

	噛み具合(歯並び)		外観(色)		発話		口臭	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診時(N=71)	30	42.3%	36	50.7%	10	14.1%	20	28.2%
3か月後アンケート(N=59)	20	33.9%	29	49.2%	1	1.7%	11	18.6%
	痛み		その他		無回答			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
大学での歯科健診時(N=71)	16	22.5%	22	31.0%	0	0.0%		
3か月後アンケート(N=59)	11	18.6%	9	15.3%	2	3.4%		

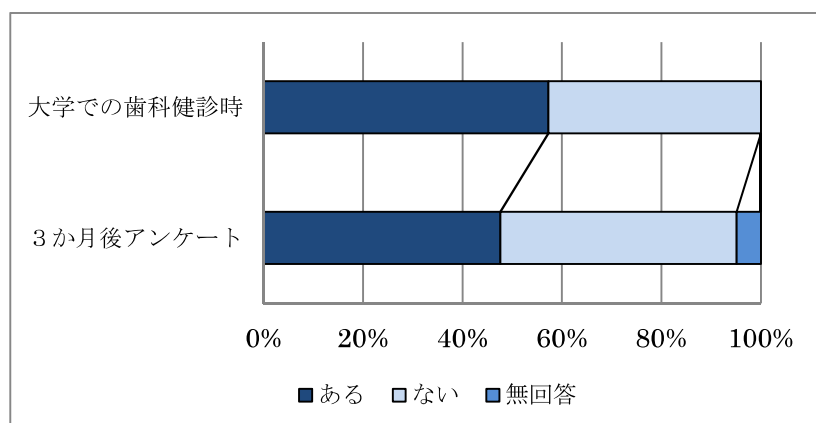


図 4 現在自分の歯や口の状態で気になること

### (5) 歯科疾患の自覚症状

「歯みがき時に出血する」、「歯ぐきがはれてブヨブヨする」、「冷たいものや熱いものが歯にしみる」という歯科疾患の自覚症状は大学での歯科健診時、3か月後アンケート時でほとんど差がなかった（表 21～23、図 5～7）。

表 21 歯みがき時の出血

	いつも		時々		いいえ		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診 (N=124)	3	2.4%	49	39.5%	72	58.1%	0	0.0%
3か月後アンケート (N=124)	2	1.6%	46	37.1%	71	57.3%	5	4.0%

表 22 歯ぐきがはれてブヨブヨするか

	いつも		時々		いいえ		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診 (N=124)	2	1.6%	11	8.9%	111	89.5%	0	0.0%
3か月後アンケート (N=124)	1	0.8%	14	11.3%	104	83.9%	5	4.0%

表 23 冷たいものや熱いものが歯にしみるか

	いつも		時々		いいえ		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診 (N=124)	10	8.1%	49	39.5%	65	52.4%	0	0.0%
3か月後アンケート (N=124)	12	9.7%	43	34.7%	64	51.6%	5	4.0%

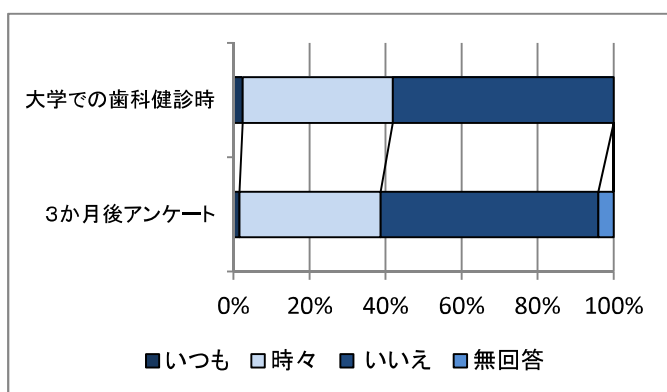


図 5 歯みがき時の出血

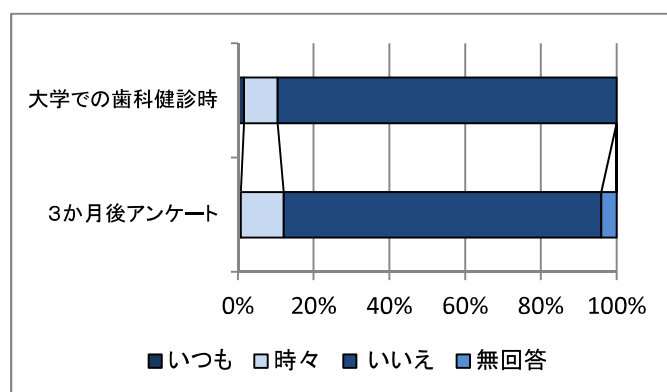


図 6 歯ぐきがはれてブヨブヨするか

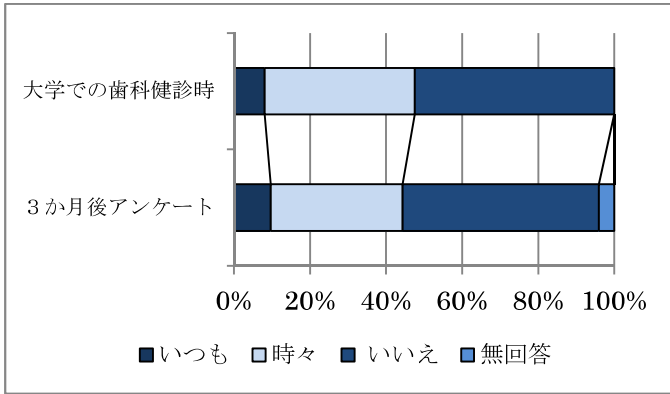


図7 冷たいものや熱いものが歯にしみるか

(6) かかりつけ歯科医院をもつ者

かかりつけ歯科医院をもつ者は大学での歯科健診時の 41.9%に比べて3か月後アンケートでは51.6%と増加した(表24、図8)。

表24 かかりつけ歯科医院をもつ者

	ある		ない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診(N=124)	52	41.9%	72	58.1%	0	0.0%
3か月後アンケート(N=124)	64	51.6%	55	44.4%	5	4.0%

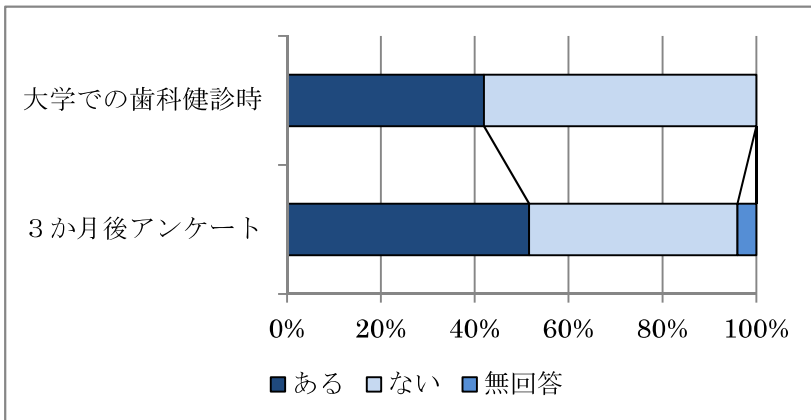


図8 かかりつけ歯科医院をもつ者

(7) 外出時の歯みがき、歯間ブラシまたはフロスの使用状況

外出時の歯みがきをする者は大学での歯科健診時、3か月後アンケート時であり差がなかった。歯間清掃用具の使用状況については、「毎日」または「時々」と回答した者が大学での歯科健診時で37.9%、3か月後アンケートでは57.3%と増加した(表25~26、図9~10)

表 25 職場や外出時の歯みがき

	いつも		時々		いいえ		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診(N=124)	6	4.8%	29	23.4%	88	71.0%	1	0.8%
3か月後アンケート(N=124)	10	8.1%	33	26.6%	75	60.5%	6	4.8%

表 26 歯間ブラシまたはフロスの使用

	毎日		時々		いいえ		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学での歯科健診(N=124)	9	7.3%	38	30.6%	77	62.1%	0	0.0%
3か月後アンケート(N=124)	11	8.9%	60	48.4%	47	37.9%	6	4.8%

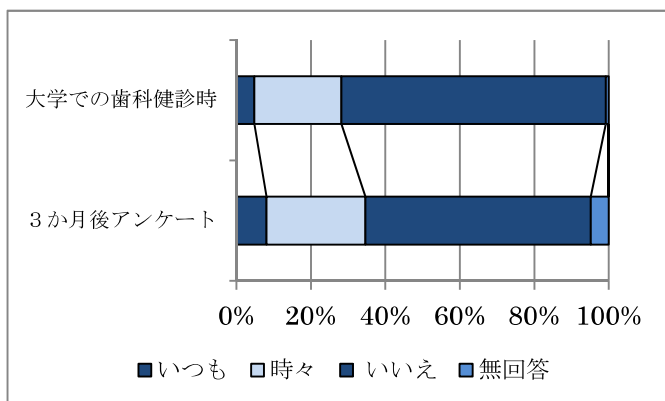


図 9 職場や外出先での歯みがき

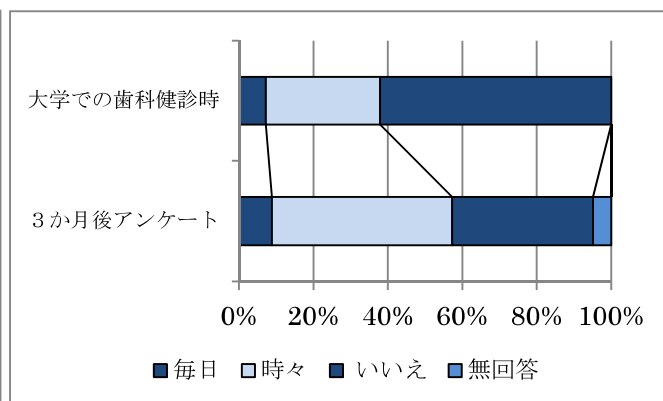


図 10 歯間ブラシまたはフロスの使用

#### IV 考察

- (1) 本事業における歯科健診結果で特徴的なのは歯肉炎のある者（要精検）の割合が26.3%と、県内公立高校生の8.6%より急増していたことであった（図3）。歯肉炎は成人期以降、歯周病へ進行しやすいため、大学在学中に適切な歯の処置ならびに歯科保健行動を身につける機会をもつことはとても重要である。
- (2) 歯科健診の実施方法として、本事業では大学における集団型歯科健診を選択した。学生の満足度は94.7%、さらに96.4%の学生が来年も受けたいと回答したことから、大学歯科健診のニーズは高いと思われた（表11、表12）。歯科健診は内科定期健康診断と同時に実施したほうが、別日に実施した場合よりも、明らかに受診率が高かった（表1）。今後、歯科健診で受診率を上げる対策を考える場合において、大学や職場等における集団型の歯科健診がもっとも有効な手段であることが示唆された。
- (3) 歯科健診後当日アンケート結果では、「今後実行しようと思うこと」として「定期健診」と回答した者が最も多かった（42.9%）（表10）。さらに3ヶ月後のアンケートでは、大学での歯科健診を受診後に歯科医院を受診した者は、大学の歯科健診を受けなかった者より約2倍多かったことから、本事業の歯科健診には「定期的な歯科医院への受診」を推奨する効果があったと考えられた。
- (4) 本事業の歯科健診を受診する前には、かかりつけ歯科医院をもつ者の割合は42.0%であり全県（71.5%）より低かった（表3）。今回の歯科健診で、かかりつけ歯科医院を持つ必要性を説明し、さらに、むし歯や歯肉炎の原因となる歯垢を除去する歯間清掃用具の指導を行ったところ、3か月後のアンケート結果では、かかりつけ歯科医院をもつ者の割合が51.6%に増加した（表24）。さらに、歯間清掃用具（フロス等）を「毎日」または「時々」使用すると回答した者の割合が、健診受診前の37.9%から3か月後には57.3%に増加した（表26）。歯に関する関心がそれほど高くなかった学生も、歯科健診や指導を受けることにより、定期歯科健診の必要性や歯間清掃用具の使用についての意識向上が得られることが示された。

#### V まとめ

歯科健診及び歯科保健指導の機会を設けることで学生の口腔衛生に対する意識が向上した。また、次年度の健診継続を希望する学生が多かった。

今後は、大学生等の歯科口腔保健に関する意識の向上を図るための啓発や、大学等の教育機関における歯科口腔保健関連の健康管理の充実に向けた働きかけを推進する。